

うに郷通信

No.155
令和4年(2022)6月

発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

2022年春の花苗配布

少し寒いけれど晴天に恵まれた4月30日(土)午前8時から9時まで、花苗配布を各町公民館で実施しました。

鍛冶屋町は繁田区長さん、油谷町は吉田区長さん、田谷町は井上さん、国正町は松岡さん、小印南町は稲木さん、青野町は繁田さんを各町責任者として、日日草、松葉ボタン、ペンタス、アングロニアなどの花苗を、希望される皆様方に3ポット手渡し(または配布)しました。

「久しぶり、大きくなったネ！」や「この花何色が咲くのやろか？」などの声が聞こえる中、短時間でしたが参加者のご協力で約290戸へ花苗を配布することが出来ました。

今後も、宇仁郷の「花いっぱい運動」を継続していきたいと考えておりますので、ご一緒に住みよい町 宇仁の里を目指しましょう。
(花畑街道部会)



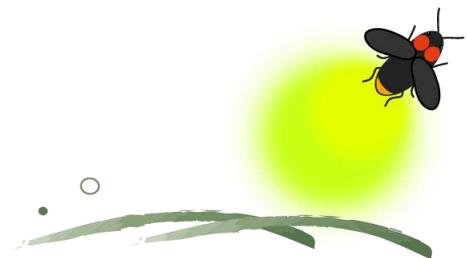
ホタル観察会のお知らせ ~2022年 平和を願って 翔べ蛍~

油谷川でのホタル観察会の季節になりました。昨年に引き続いて、一番寒い2月の時期に油谷町の宮田橋から田谷町大歳井堰の間を、各町の役員の方々により河川内の草刈りや清掃活動を実施していただきました。

ホタルの幼虫のえさになるカワニナ(巻貝)の放流は昨年出来ませんでした。観察の結果しっかり生息していることもわかりました。このカワニナなどを食べて成長した幼虫は、約1ヶ月土の中で過ごして蛹(さなぎ)になり、いよいよ羽化が始まります。

温度や風の強さなど、ホタルの飛翔は天候に強く左右されるため残念な年もありましたが、2013年から観察を開始して10年目になりました。今年こそは、平和を願って、しっかり翔んでほしいですね。

1. 観察日 6月4日(土)・5日(日) 雨天中止
2. 集合場所 八王子会館前
3. 集合時間 午後7時50分・参加者確認の上、8時出発
午後9時頃会館前に戻り解散
4. 観察場所 油谷川(宮田橋から大歳井堰の間)
5. 注意事項 ・長ズボン、長袖、長靴で。虫よけスプレーは禁止。
・懐中電灯を用意。草むらには入らない。



(里山・川環境整備部会)

子育て支援センターより



年と低学年に分かれ、各自で学校の宿題に取り組みました。

5月7日(土)は、朝から宇仁郷まちづくり協議会子育て支援センターのボランティアスタッフで、旧宇仁幼稚園(児童保育場所)の清掃・花植え活動を行いました。花畑街道部会の皆さんが大切に育てられた花を、地域ボランティアの皆さんと一緒に PTA 保護者や児童を含め20人もの皆さんが参加されたお陰で、ワイワイ楽しく花を植え、園内の清掃をすることが出来ました。ご協力いただきました皆さんありがとうございました。

(子育て支援センター)

タケノコ掘り交流会開催



4月24日(日)、芦屋市翠ヶ丘まちづくり協議会の岩野副会長他がタケノコ掘り交流会に来られました。小雨が降る中での交流会実施となりましたが、岩野さんよりお礼のメッセージが届きましたので紹介します。

「先日は大変お世話になりました。小雨混じりであいにくの天候でしたが、宇仁郷でタケノコ掘りが開催されました。タケノコだけでなく、いろんな植物が芽を吹いていて春を満喫できました。“タケノコは終わりがけ”と聞きましたが、私たちからすれば立派なタケノコがたくさん収穫できました。竹林所有者の民輪様

をはじめ宇仁郷まちづくり協議会の皆様のおかげで、楽しいひと時が過ごせました、ありがとうございました。来年も是非よろしく願いいたします。」
(事務局)

宇仁小学校の思い出 ⑭～木造校舎から新校舎建設に向けて～

宇仁郷通信の原稿依頼を受けた時、宇仁小学校の木造校舎や「さつまいも祭り」などの学校行事を思い出してとても懐かしい気分になりました。

私は今から11年前、2011年(平成23年)4月に宇仁小学校に赴任しました。はじめての勤務校であり、2年間教頭職を務めました。昨今、学校現場でも「働き方改革」が叫ばれている状況ですが、当時の教職員は夜遅くまで勤務し、子どもたちのために情熱を傾け、献身的に取り組んでいました。児童もそれに呼応するように、素直な子どもばかりで、卒業式や離任式は他校にはない感動の演出で衝撃を受けました。PTA会長や役員さん、保護者の皆様にも懇意にいただきました。さらに、宇仁郷まちづくり協議会の会員さんをはじめ、地域の方々の「地域の核としての学校」を大切にするという意識、学校に対する熱い思いがひしひしと伝わってくる強烈な印象が残っています。

丁度、私が在籍した2年間は、懐かしい木造校舎から地元の悲願・念願であった新校舎への建設移転への動き、設計期間と工事開始時期と重なっています。

1年目、どんな校舎にするのか、新校舎の基本設計に向けて教育委員会の関連部署と校長と共に協議を重ね、最終案が今の新校舎の形に決まりました。その後、具体的な設計期間、工事に向けての準備や最終打ち合わせを経て、2年目の3学期からいよいよ新校舎の工事が開始されました。よく草刈りをした校地に新校舎建設の基礎工事が行われていく様子を見守ったことを今でも覚えています。

最近提案された「加西市未来の学校構想素案」では、小規模校を存続しながら課題を解消し、小学校11校を存続していく方針が示されています。今後も、当時校門付近にあった石碑の「玉成」並びに合言葉である「あいさつ なかよし 日本一の学校」をめざして、学校と家庭と地域が一体となって取り組まれていくことを願っています。

(H23.4.1～H25.3.31教頭 岡本昌文)



宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達③

新校舎建設遅延の対応に苦慮 (2)

平成15年3月9日開催の宇仁小学校新築期成同盟報告会の議事録より関係者の学校建設に対する熱い思いを紹介しています。

・岡本一成・田谷町区長

「平成14年11月2日学校用地1町7反の登記が完了しました。そのうち代替地が7反ありました。平成15年よりの造成に地元は期待しており、協力していただいた地権者の意向が生かされるようお願いしたい。築16年の家の移転は候補地が2転3転したが平成15年6月1日に移転の段取りになっています。柏原市長からは小学校は建てますと聞いています。」

・甘中徹雄・宇仁小学校長

「本校は男子56名、女子67名、本年卒業生は21名、新入生は10名で、新学期は112名でスタートすることになります。昨年、市内の5・6年生が一堂に集まった運動会で6年生の女子は2位、5年生の男子は1位、女子は2位と宇仁小学校は良く走るという評価を受けました。また5・6年生で“よさこい踊り”を披露しましたが皆さんから感嘆の声をいただきました。本校はこの4年間で30名の減少になりましたが、市内のどこの学校も減少しております。文部科学省はクラスの標準編成は20名と言っております。よく言えば20名クラスが2学級あるのが望ましいということです。20名程のクラスのメリットは、①密度の濃い学習ができる。②1人ひとりが役割を持って活動が可能となる。③上級生と下級生との協業は人間関係が深まります。1クラスではクラス替えが出来ないとよく言われますが、5・6年生で競争し活性化が図られていること、役割を幅広く持たせる工夫をしていること、等で大規模校より教育の安定性は本校の方がよいと自負しております。」
一次号につづく



取り壊し前の旧校舎内